

# 男女がともに輝くために

共に輝くみほの会  
(美浦村女性行政推進協議会)

少しずつ前へ

市川 昭子

『初暦 見知らぬ日々の美しく』

我が家なりの大掃除が終わって、新しい暦に掛け替えながら口ずさんだ、ある女流作家の一句です。

若い頃は、これからの一年どんなことができるか、どんな出会いが待っているかとワクワクしていました。

しかし、歳を重ねた今は少し違っています。

特にあの3・11以来、自然に対して、日々の暮らしに対して、こんなにも不安を感じながらも過ごしたことがあったでしょうか。

美浦村では平成25年12月に第2次美浦村男女共同参画計

画の策定が終了しました。

計画策定には行政関係者が中心となり、民間からも各界から、特に女性団体代表の方の多くが参画し、今の男女共同参画に関する美浦村の状況を基に協議しました。そして、計画を推進していくためには、より行政と村民が連携し合っ

て事業を行っていくことが必要であることを感じました。

男女共同と言えば、身近なところでは本当にいつの間にか自然に変わってきているなど

実感することが多くあります。例えば、娘や息子の家庭で手の空いている方が家事や育児

をしていて、それをとても微笑ましく眺めています。娘は

「私たちは自然よ。ママたちの時代とは違うわ。」と言いま

す。確かに明治、大正生まれの親たちが「男とは」「女とは」とよく口にしていたこと

とを、私たちは口にしません。きつと女性史に登場するよう

な大先輩たちの苦勞や努力の積み重ねによって得られた、

人は男も女も平等であるという考えが少しずつ広がり、時

代を変えてきたのでしょうか。

児童委員や子育て支援、保育サポート、子どもたちへの

読み聞かせのボランティアをする中で、若いお母さんたちとふれあって特に感じるのは、私たちとは違った方法や感覚でしっかりと連携し行動しているということ。若いお父さんたちも勿論同様で、村の高齢化や人口減少の中にあっても、これらの若い叡智を持って村に根付き、村を担っていきける人たちは必ず存在し活躍してくれると確信しています。

私としても、何かできることがあれば、微力を尽くしたいと考えています。

## 男女共同参画社会について一緒に学んでみませんか？

美浦村女性行政推進協議会（共に輝くみほの会）では、活動を共にできる会員を募集しています。（男性の入会可）

□お問合せ 役場企画財政課

## みほ文芸

正調俚謡 日和吟社題「師・走」一字以上詠込み有季無季随意

走り続けて強敵破り東北の楽天日本一 上野八千代

仏も祝儀も師範の老母に頼む筆字で胸を張る 山崎笑子

鯛やハマグリ馳走を揃え祝う食い初め祈る幸 門脇悠美

寒い朝練吐く息白くゴール目指してひた走る 磯西涼香

師走競馬で大穴当てた覚めりや寒さがなお凍みる 高橋一步

忙し師走もまあるく暮れる婦唱夫随の和やかさ 本橋清湖

長い尾を引く星探し師走ひと夜の夢と消ゆ 田島草実

目指せ横綱わき目も振らず走り続けて稀勢の里 石戸律華

俚謡の席にて馳走になった稚友の手料理忘れぬ 下村松陽

障子貼り替え昼餉の師走届くまつ赤なシクラメン 沼寄朋香

師走彩る賑わう街も終り行く年省みる 渡辺希代

母子元気で産声高く願ひ唱えた走り星(流れ星) 塚本夏雲

御足羽つけ飛び立つ師走呪む家計簿冬木立 長谷川悦子

年は気にせず極みを求め走り続ける琴の道 伊藤葉子

表通りの催促よりも師走気楽な裏通り 飯塚筑風

師への誓いと誉れの道は常に報恩只感謝 小藺江久美

十二月の俳句(題 当季雑詠) (五十首順)

忘れたき過去も投げ入れ落葉焚き 青野安佐子

朝霧の中からぬつと牛の鈴 石毛恵美子

古い二人娘からの聖東持て余す 伊藤八千帆

枯あしや夕日に映ゆる出島岬 岡野洋子

もみじの手紅葉にそつと重ねぬる 木澤はしめ

孫が来て保育所ごっこ冬日和 高柳幸子

縁小春婆ままごとの仲間入り 田島早苗

炬開きや独り聴いてる松の風 中島輝子

招くよに揺すり揺すられススキの穂 松葉よしの

ひと日吹くふるえ止まざり銀杏黄葉 松本秀子

炭はせて破る沈黙爛匂ふ 宮崎きみ枝

微酔ひの友と見上ぐる冬銀河 矢原はつひ